

2019-20年度 地区資金収支報告書

2019-20年度 収支報告

国際ロータリー第2560地区資金収支計算報告書

1. 地区資金一般会計収支計算書

2019-20年度

1-1)収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	差 異
前年度繰越金	20,579,261	28,263,271	-7,684,010
R C分担金収入他	41,496,440	41,173,912	322,528
合 計	62,075,701	69,437,183	-7,361,482

1-2)支出の部

項 目	予 算	決 算	差 異
委員会費	6,950,000	4,689,078	2,260,922
地区大会他補助金	6,670,000	6,670,000	0
全国組織分担金	1,810,000	1,787,985	22,015
次期ガバナー旅費補助金	1,600,000	800,000	800,000
ガバナー事務所運営費	26,880,000	23,295,188	3,584,812
予備費	1,000,000	0	1,000,000
合 計	44,910,000	37,242,251	7,667,749

1-3)次年度繰越金

項 目	予 算	決 算	差 異
次年度繰越金	17,165,701	32,194,932	-15,029,231

2. 地区資金特別会計収支計算書

項 目	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	—	33,681,625	—	
収入	12,449,000	12,274,950	174,050	
支出	16,327,000	9,848,581	6,478,419	
次年度繰越金	—	36,107,994	—	

3. 財産目録

資産科目	摘 要	金 額	備 考
普通預金	第四銀行 本店・高田営業部	48,302,926	
前 渡 金	佐藤ガバナー事務所	20,000,000	2019/7月、2020/3月に送付
資産合計		68,302,926	

4. 監査報告書

国際ロータリー細則第16条（地区）第6節（地区の財務）第4項及び国際ロータリー第2560地区会計規則第31条による監査を実施した結果、地区資金収支計算報告書（上記1. 2. 3）は、極めて良好且つ非違なきことを認めましたので、ここにご報告致します。

令和 2 年 8 月 25 日

R I 第2560地区会計監査人

公認会計士

近野 茂 

2019-20年度 DDF収支報告書

2019-20年度 第2560地区ロータリー財団 DDF収支報告書

収入(DDF使用可能額)		支出	
2016-17年度 年次基金 \$ 346,847.20 × 50%	\$173,423.60	地区補助金(DG2087931)	
		各RC奉仕プロジェクト(9件)	\$18,452.00
		奨学金(3名)	\$35,364.00
2016-17年度 恒久基金運用利益 \$ 12,931.30 × 50%	\$6,465.65	地区奨学生面接・オリエンテーションの会場費	\$478.00
		奨学生募集ポスター印刷費用	\$210.00
		資金管理セミナー会場費	\$3,536.00
前年度DDF未使用金	\$80,147.41	COVID-19対策(フェイスシールド)	\$27,378.00
		管理費	\$73.00
前年度地区補助金未使用金	\$20,738.97	地区補助金未使用金	\$9,783.00
		地区補助金合計	\$95,274.00
		グローバル補助金	
		タイ国: 『タイ王国ナコンシタマラート県公立タサラ病院』 GG1986126	\$15,000.00
		タイ国: 『疾病の認識・予防教育・治療』 GG1989310	\$30,000.00
		グローバル補助金合計	\$45,000.00
		寄贈	
		ポリオプラス	\$20,000.00
		ロータリー平和フェロースhip	\$10,000.00
		ロータリー災害救援基金	\$20,000.00
		寄贈合計	\$50,000.00
		DDF未使用金	\$90,501.63
総合計	\$280,775.63	総合計	\$280,775.63

上記収支報告書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。

国際ロータリー第2560地区ロータリー財団 監査委員

山本 和則 署名: 山本和則 日付 2020/8/1

南雲 美智子 署名: 南雲美智子 日付 2020/8/1

近野 茂 署名: 近野茂 日付 2020/8/1

大会委員会報告

①登録委員会 委員長 大谷 光夫

登録委員会より今大会の登録者数をご報告いたします。

地区内56クラブの2021年1月1日会員数は2,087名、そのうち2,072名のご登録をいただきました。なお地区外からのご登録はございません。大勢の皆様からご参加いただいた友情に感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

②資格審査委員会 委員長 新保 清久

RI細則第15条050.1.「選挙人」には、「各クラブは少なくとも1名の選挙人を選び、その地区の大会および立法案検討会(開催される場合)への選挙人として証するものとする。会員数が25名を超えるクラブは、25名ごとに1名、または端数が13名以上の場合、さらに1名の割合で選挙人を有する。つまり、会員数が37名までのクラブは1名の選挙人を持つ資格を有し、会員数が38名から62名までのクラブは2名の選挙人を有し、会員数が63名から87名までのクラブは3名の選挙人を有する、というようになる。会員数は、投票に先立つ、最新のクラブ請求書における会員数によって決定される(一時保留のクラブは投票権がないことを除く)。各選挙人はそのクラブの会員であるものとする。投票するためには、選挙人は大会または立法案検討会に出席していなければならない。地区大会での選挙人による投票にクラブが参加するには、クラブは、投票を行うロータリー一年度において義務づけられた地区賦課金を納入済みであるものとし、地区に負債がないものとする。クラブの納入や負債の状況はガバナーが判断する。」とあります。

1月1日現在の当地区クラブ数56、会員数2,087名、選挙人88名でその選挙人は適格と認めました。以上ご報告申し上げます。

③ガバナー指名委員会 委員長 山本 和則

ガバナー指名委員会より2022-23年度、及び2023-24年度、第2560地区ガバナーノミニーの選出についてご報告申し上げます。

RI細則第12条030.3の規定により、当地区各クラブにガバナーノミニー候補者の推薦を要請いたしました結果、新潟ロータリークラブから高橋秀樹氏の第2560地区ガバナーノミニー(2022-23年度ガバナー)としての推薦がありましたので、地区ガバナー指名委員会において審議し決定いたしましたことをご報告申し上げます。

しかしながら第2560地区ガバナーノミニーデジグネート(2023-24年度ガバナー)については、3月18日現在までに推薦がございませんでした。鋭意努力をするも今大会においてガバナーノミニーデジグネートの選出に至らず、目下調整中であります。近々には皆様方にご提案できることと存じます。以上ご報告申し上げます。

大会委員会報告

④大会決議委員会 委員長 田中 政春

大会決議(案)

「決議第1号」

「国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク氏の本年度テーマに協力する件」

本大会は本年度RI会長 ホルガー・クナーク氏の2020-21年度テーマである「ロータリーは機会の扉を開く」の意義をよく理解し、ロータリアンが奉仕の実践の先駆けとして活動し、平和に貢献することを提案いたします。

「決議第2号」

「国際ロータリー会長に感謝する件」

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク氏は、常日頃よりあらゆる機会を通じ国際ロータリーの現状について詳細なご説明を為され、本大会を更り多き大会として成功に導かれました。

本大会は国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク氏に、衷心より感謝の意を表す事を提案いたします。

「決議第3号」

「直前 ガバナー 大谷 光夫氏に感謝する件」

国際ロータリー第2560地区2019-20年度 ガバナー大谷氏は、在任中卓越したロータリー精神のもと、情熱をもって国際ロータリーの方針の実践と地区発展に寄与されました。ここに本大会は大谷 光夫氏に感謝の意を表します。

「決議第4号」

「2019-20年度 地区資金収支報告並びに財務監査報告承認する件」

国際ロータリー細則第15条060.4.の規定により、国際ロータリー第2560地区2019-20年度の監査された年次財務表及び報告書の承認を提案いたします。

「決議第5号-1」

「ロータリー財団に対する協力推進の件」

2017年にロータリー財団創立100周年を迎えたことを踏まえ、グローバルな視点から、健康状態の改善、教育の支援、貧困からの救済等を通じて、世界理解と平和の達成のために、一層努力するよう提案いたします。

「決議第5号-2」

「ロータリー米山記念奨学会への協力推進の件」

ロータリー米山記念奨学会に対する支援は、優れた日本の文化と科学・技術を来日留学生に学んでもらい、将来、我が国と母国の架け橋となり、相互理解を深めるためのプログラムであります。その為、地区を挙げて奨励し、協力することをここに提案いたします。

「決議第5号-3」

「青少年に関する各種プログラム計画への協力推進の件」

次代を担う青少年育成のため、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの活動を積極的に支援し、ライラ研修の実施に一層の努力をすることを提案いたします。

「決議第6号」

「バーチャル国際大会に地区として協力する件」

2020-21年度国際大会が2021年6月12日から、台湾・台北において開催されるバーチャル国際大会開催にあたり、第2560地区として協力をすることを提案いたします。

「決議第7号」

「2021-22年度地区大会開催の件」

本大会は、次年度のRI第2560地区大会を新潟中央RCをホストロータリークラブとして2022年4月16日(土)・17日(日)に開催することを提案いたします。

「決議第8号」

「地区大会3RC共同開催に対する感謝の件」

2020-21年度国際ロータリー第2560地区大会は、新発田RC、水原RC、豊栄RCをホストロータリークラブとして開催されました。運営に当たっては各クラブが実行委員会のもと一丸となって努力し、大会を成功に導きました。よって今大会は大会役員、委員及びホスト、コ・ホスト、各会員並びにその家族に対し、深甚なる感謝の意を表することを提案いたします。

「決議第9号」

「2022年国際ロータリー規定審議会の地区代表議員に感謝する件」

2022年4月米国イリノイ州シカゴにおいて開催される国際ロータリー規定審議会に、地区代表議員として山本和則パストガバナー、補欠議員として新保清久パストガバナーが出席されることに対して感謝の意を表することを提案いたします。

「決議第10号」

「ガバナー指名委員会によるガバナーノミニー推薦の件」

国際ロータリー細則12条2節の規定により、当地区ではガバナー指名委員会によるガバナーノミニー選出の手続きを採択する事を提案します。